

家賃保証ジエイリース

来月22日マザーズ上場

東京証券取引所は18日、家賃保証事業を手掛けるジエイリース（大分市）の新興企業向け市場マザーズへの上場を承認した。6月22日の予定。国内の証券市場に上場する大分県の企業は9社目。

同社は2004年に中島拓社長が創業。アパート、事務所、駐車場などの物件について貸主と借り手の双方と契約し、未払いの賃料を立て替えるサービスを提供している。不動産を借りる際に保証人が不要になる利点があり、九州各県のほか関東や大阪など国内に18拠点を展開している。

16年3月期連結決算は、売上高32億900万円、経常利益2億300万円、純利益8700万円。17年3月期の業績は増収増益を見込む。同社は「積極的かつ創造的なサービスの提供に努め、社会の安定と発展に貢献したい」としている。